

1964年 8月8日

ミスター ロバート エイトケン  
ダイヤモンド僧伽  
2119 カロア ウエイ  
ホノルル、ハワイ

拝啓

1964年7月23日付、貴方の寄宿僧に関してのご質問に、お答えします。私の意見では、此の人物が最高の知的、宗教的問題を話し合いながら、ミス [ ] を誘惑し性交を行ったことは、論理的に判断して疑う余地はありません。

このため非常に破壊的な結果を招くことになりました。ミス [ ] は前期精神異常の状態にあった患者で、禅を通じて人間として生きる道の肯定とその価値を探し求めていたのですが、実際には逆に、彼女自身の獣性の自覚を明らかにしたのです。勿論、私には何が行われたか確証はありません。ミス [ ] は明らかに病人であり、記述の如き関係が事実であると人に思わせるのも彼女の幻想が原因している可能性もあります。しかし、タイミング、連続性、関係について彼女が説明した感情とその内容を総合して診断してみると、これは幻想によるものではなく、実際に行われた事であり事実であると判断いたします。

私は、何よりも運が良かったことは、ミセス坂本が、貴方の手紙の内容について証言に立ってくれた事だとおもいます。しかし、勿論彼女は信頼の出来る責任感のある人なのです。

これら一切の成り行きをみると、貴方の寄宿僧は完全に哲理に疎く、上辺だけの宗教に生きる人間である事を示しているといえましょう。この手紙が貴方の団体の障害物を取り除くために役立つことを望みます。

そして更に、彼の歪んだ伝導から禅を救うことができるようのぞみます。

もし私に、此の他に役に立つ事があれば、どうぞ連絡してください。

敬具

スタナード スミス、医学博士